

■ 次世代自動車センターフォーラム2024

次世代自動車センター浜松では、毎年4月に、経済産業省自動車課による基調講演により国の動向を把握するとともに、年ごとにテーマを設定したトークセッションや次世代自動車センター浜松の活動報告及び新年度の事業計画の説明などを内容とする「次世代自動車センターフォーラム」を開催しています。

本年度の「次世代自動車センターフォーラム2024」では、来賓の皆様からご挨拶をいただいた後、自動車産業に関する世界の最新動向や経済産業省における令和6年度中小企業支援策を紹介する経済産業省自動車課 清水課長様による基調講演をはじめ、実際に部品ベンチマーク活動を活用して部品の調査活動を実施した会員企業と、試作部品を開発した会員企業によるトークセッションを開催しました。また、望月センター長より、次世代自動車センター浜松の活動報告と今年度の事業計画を説明しました。

また、今回は、トークセッションのテーマに合わせて、会場内に欧州製のVW ID3 と中国製の長城汽車製欧拉好猫の2台の電気自動車を分解した部品を展示しました。

■日 時： 令和6年4月15日（月）13時30分～16時50分

■場 所： グランドホテル浜松

■参加者： 120社／222名

第1部 開会	
13:30～14:00	<p>主催者挨拶 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 理事長 古橋 利広</p> <p>来賓挨拶 経済産業省関東経済産業局長 太田 雄彦 様 静岡県副知事 森 貴志 様 浜松市長 中野 祐介 様 浜松商工会議所 会頭 斉藤 薫 様</p>
第2部 基調講演	
14:00～15:00	<p>演題「自動車産業の最近の動向と政策対応」</p> <p>経済産業省 製造産業局 自動車課長 清水 淳太郎 様</p>
第3部 フォーラム	
15:15～15:55	<p>次世代自動車センター浜松の活動報告及び今年度の事業計画について</p> <p>次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二</p>
15:55～16:50	<p>トークセッション</p> <p>テーマ：「次世代自動車に関わる車両分解活動及び部品ベンチマーク活動について」</p> <p>モデレーター 次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二</p> <p>【トークセッション1：車両分解活動及び部品ベンチマーク活動の概要】</p> <p>次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二</p> <p>【トークセッション2：X線検査装置によるベンチマーク部品の調査結果報告】</p> <p>(株)島津製作所 分析計測事業部 橋本 継之助 様</p> <p>【トークセッション3：「ベンチマーク活動を生かした鋳造製モーターシャフトの開発】</p> <p>西岡可鍛工業(株) 代表取締役社長 西岡 充 様</p>
16:50	閉会

【開会】



【主催者挨拶】



【来賓挨拶】

< 関東経済局長 様 >



< 静岡県副知事 様 >



< 浜松市長 様 >



< 浜松商工会議所会頭 様 >



【基調講演】 < 経済産業省 清水課長 様 >



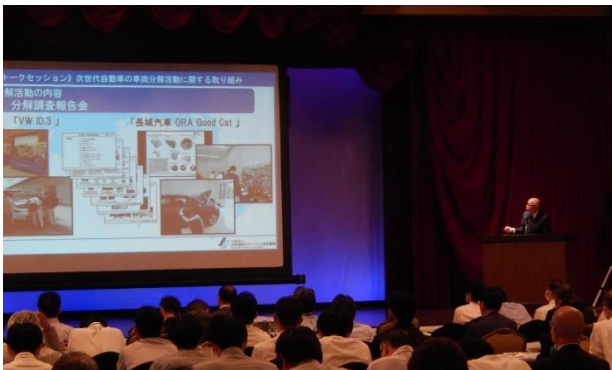
【フォーラム】

＜次世代自動車センター浜松の活動報告＞



【トークセッション】

＜次世代自動車センターの取組説明＞



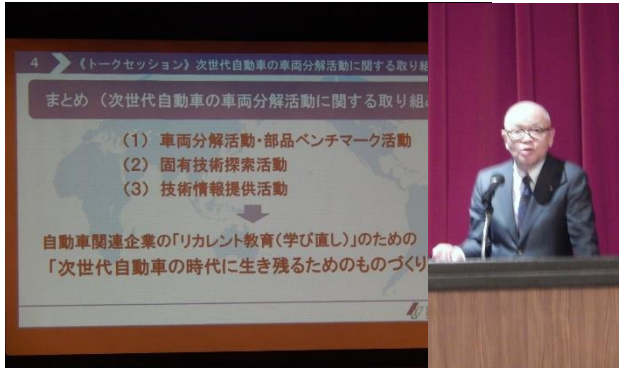
＜榎島津製作所 様＞



＜西岡可鍛工業(株) 様＞



＜まとめ＞



【車両分解部品展示】



【参加者の声】

○基調講演

- ・世界を含めた自動車産業を取り巻く現状を知ることができた。
- ・電動化の市場動向やEV市場の状況等、多くのデータがとても参考になった。
- ・世界市場の多角的なデータと、今後の施策を詳細に知ることができた。
- ・各国の動きと国内の動きがよく分かった。全体的に非常に分かりやすくまとまっており、大変参考になった。
- ・自動車産業の現状からDX・GXへの対応、事業支援策まで幅広くご講演いただき、大変参考になった。
- ・最新動向の確認ができたことと、カーボンニュートラル、モビリティDXの方向性も理解でき、非常に有用な情報を確認することができた。
- ・EVだけに傾倒せず、多様な選択肢を持つておくことの重要性を、各国の情勢をもとに理解することができた。
- ・特に自動車サプライヤの事業転換支援策が勉強になった。
- ・自動車業界の現状の動向が再認識できた。メーカーや中堅企業はまだしも、中小企業はやはり厳しいと感じたので、今後の開発の参考にしたい。

○次世代自動車センター活動報告

- ・センターが次世代自動車全体にわたって活動されていることがよく分かった。
- ・センターの事業について分かりやすく教えていただき、様々な支援を行っていることを理解できた。
- ・中小企業の支援活動について、いろいろな活動をしていることを知り、勉強になった。
- ・最新車両情報から5S現場改善まで幅広い活動に、感心させられた。
- ・次世代自動車センターがどんな活動をして、どんな成果を上げているかを理解できた。
- ・中小企業における経営の健全性の確保、提案力の向上の2つのポイントが、分かりやすかった。
- ・お金をかけてCNをやるのではなく、まずは省エネによるコスト削減を図るというように、目的を間違えないことが大切だと気付けた。
- ・静岡大学とのインターンシップ活動は、継続して欲しい。学生とつながる機会がなかなか見つけられないと思う。

○トークセッション

- ・次世代自動車センターをどのように活用していくかのやり方がよく分かった。
- ・次世代自動車センターのベンチマーク活動の重要性が理解できた。新しいビジネスはベンチマークから始まる。
- ・サプライヤがベンチマークを行い、自社の強みを生かした製品の試作を自ら行うという姿勢は見習うべきだと思った。
- ・ベンチマーク部品を実際に活用された実例を紹介していただき、自社でも同様の活動ができるのではないかと、今後検討していきたい。
- ・X線検査装置で3D画像が分析できるのは参考になった。鋳造で中空シャフトを作る技術は参考になった。
- ・X線装置の非破壊で内部構造を可視化するための透過、断面観察できる有効性が分かった。また、モーターシャフトの試作についても様々な工夫を実施されており、非常に感心した。
- ・西岡可鍛工業様の中空アイデアと取り組む姿に感銘を受けた。私たちが分野は違うが頑張りたい。
- ・ベンチマーク活動で自社の特徴や技術力から実現できる物を考え、着手する姿は非常に刺激になった。